楠目小学校　学校紹介

～学校教育目標「豊かな心　確かな力で　未来を拓く子どもの育成」の具現化を目指した取組～

「 拓く 」から「 創る 」へ

楠目小学校では、今後、子どもたちが直面する予測困難な時代を生き抜くための力の育成に取り組んでおり、基礎学力の定着とともに、子どもたちの「エージェンシー」(実現したい未来のため、自ら目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力)を育んでいます。また、香美市が推進する「魅力ある学校づくり」にも取り組んでいます。

❶「居場所づくり」「絆づくり」

「魅力ある学校づくり」に向けて、教職員全体での共通理解を図るため、昨年度の児童アンケートをもとに話し合った結果、項目「学校が楽しい」の数値が伸びていないことや、人を大事にできず児童間のトラブルに発展することについて、教師主導の授業や行事が多くなっていることが原因ではないかと考えました。そのため、今年度の重点項目を「みんなで何かをするのは楽しい」に設定し、児童同士のつながりを意識した絆づくりに重点的に取り組むことや、児童が主体的に学習できる活動を授業や行事に取り入れることを目標としました。

児童にとって、みんなで何かをするのは楽しいと感じ、学校が楽しくなるようにするために、生徒指導の３機能(「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」)を大切にして、「居場所づくり」「絆づくり」に学校全体で取り組み、各学年で具体的な取組内容を考え、共有を図っています。決めた取組内容については、毎月振り返りと共有を行い、翌月に生かせるようにしています。また、学期末ごとに魅力アンケートを行い、校内研修で数値の変化を考察したり、次学期に向け取組を決めたりしながら、ＰＤＣＡ(計画・実行・評価・改善)サイクルを実践できるように計画をしています。

❷ 学級会の進め方の統一と充実

児童が自己存在感をもち、共感的人間関係を育みながら自己決定できるように、他校をモデルにした児童主体の学級会の進め方を統一することにしました。学級会の掲示物を教員全員で準備したり、学級会の進め方のイメージが共通認識できるように、動画視聴やロールプレイ、研修を行っています。さらに、学級会の公開授業を各学年で行うようにし、互いに見ることで質を高めるよう取り組んでいます。

▲学級会の様子

❸ 異学年交流の充実

児童が主体となって運営する異学年交流の場を、月１回設けるようにしています。上級生は下級生が楽しめるように遊びやゲームを考えることで、上級生としての自覚を育むこと、下級生は遊びを楽しんだり上級生の姿を見たりして、友だちとの絆を深め、進級への期待をもつことを、それぞれのねらいとして取り組んでいます。

また、教科学習でも異学年交流を行っており、下級生は、上級生に学習の内容や進め方を教えてもらいます。そして上級生からは、下級生に教えることで、下学年の学習内容の復習や意味の理解がより深まったとの声もあり、個別最適な学習も視野に入れた取組として、今後も計画的に行っていきたいと考えています。

◀異学年による教科学習

◀児童会主催による「笑顔満点集会」

学校紹介　舟入小学校・なかよし保育園

言葉の力で子どもを育む「ことばでげんき」プロジェクト始動！

舟入小学校では、本年度より【仲間づくり部】【体づくり部】【授業づくり部】の３つの部で組織を作り、バランスのとれた子どもたちを育てる教育活動を行っています。昨年度の児童の実態をもとに、目指す子どもの姿をイメージし、具体的な取組を考えました。児童の課題として挙げられたのは、「自分の思いを伝えることが苦手」「思いを表現する言葉の力が身に付いていない」「自信がなく、自分で判断する力も弱い」といったことでした。道徳教育に力を入れて取り組んできたこともあり、規範意識や真面目さ、向上心があることと、人・学校が好きであることは、子どもたちの素敵なところだということも確認できました。

こうした子どもたちの「よさ」を生かしながら、課題を解決していく方法として「言葉の力」を付けることが重要であるという考えに至りました。そこで、授業の場では、最後まで話すことや反応しながら聞くことを徹底することにしました。さらに、学校生活の中でみんなが元気になれる言葉遣いをすることに取り組むことにしました。

全校集会では、左のスライドを使って「ことばヒーローになろう！」と呼びかけ、言葉の力で自分も周りも幸せにできることを伝えました。職員室には「ヒーローBOX」を設置し、教員が見つけた「ことばヒーロー」の姿を記録してBOXに入れることも行いました。内容はお昼の放送で紹介し、紹介された子どもは、恥ずかしがりながらも笑顔で聞き入っていました。

今後は、子どもたちが「ことばヒーロー」を見つけられるような仕組みを作っていこうと考えています。

みんなで楽しんだ「なかよしまつり」

７月８日、子どもたちが毎年楽しみにしている「なかよしまつり」を、保護者の方や子どもたちみんなで集まって、４年ぶりににぎやかに開催することができました。当日は心配された雨もなんとか持ちこたえ、年長児の気合いの入ったかっこいい『キッズソーラン』や、子どもたち全員での『よさこい鳴子踊り』『しばてん踊り』など、園庭に組まれたやぐらを中心に楽しく踊りました。また、保護者の方や職員手作りの出店（くじ引きやおもちゃなど）は、長蛇の列ができるほどの盛況ぶりで「こんなのあたった！」「〇〇買うてもろうた！」と子どもたちの笑顔がたくさんあふれていました。職員による劇『ブレーメンの音楽隊』では、真剣に見てくれている子どもたちを前に、職員も張り切って演じました。

みんなそろってのおまつりは、本当ににぎやかで良いですね！来年は、子どもたちが宣伝に出かけたりして、地域の方にも声をかけ、もっともっとにぎやかなおまつりにできればと思っています。